



港南小学校

学校だより

2月号

二十四節季・七十二候

<2月の二十四節季>

- ・2月4日 立春
春の気始めて立つ
- ・2月18日 雨水
氷雪解け雨水温む

<2月の七十二候>

- ・東風解凍
はるかぜこおりをとく
→東風が厚い氷を解かし始める
- ・黄鶯睨睨
うぐいすなく
→鶯が山里で鳴き始める
- ・魚上氷
うおこおりをのぼる
→割れた氷の間から魚が飛び出る
- ・土脉潤起
つちのしょううおおいこる
→雨が降って土が湿り気を含む
- ・霰始雫
かすみはじめてたなびく
→霰がたなびき始める
- ・草木萌動
そうもくめばえいずる
→草木が芽吹き始める

校長 船木 亮作

新年を迎えたばかりだと思っていました。三日は節分、四日は立春と暦の上では春を迎えます。節分には、各家庭で「豆まき」を行うことがおありかと思いません。「豆」は「魔滅」と書いて「まめ」と読み、災いや病気などを引き起こす「魔(鬼)」に豆を打って追い払い(滅)無病息災を祈るという意味があるそうです。人の心には「魔」があります。しかし、それに勝つか負けるかは自分の意思次第です。自分の「福」は自分で手に入れたいものです。

一月に行われました今年度最後の「学校公開」には数多くの方にご来校いただきありがとうございました。また、セーフティ教室にも参加していただき、子供たちに携帯電話等を使わせる際の注意事項などを共有できたことは大変意義がありました。今後も学校と家庭とが連携して子供たちの健全な育成に向けて取り組んでまいりたいと思っております。ご協力の方、よろしくお願ひいたします。

一月十七日には、本校の保護者でもある高田千明さんに来ていただき、リオデジャネイロパラリンピックのお話を四年生にしていただきました。視覚障害になつてパラリンピックを目指すきっかけや競技の方法などを詳しく教えていただきました。特に印象に残ったお話は、二十一歳の時に陸上競技を始めパラリンピックに出場することを目指して練習を積んだのですが、北京パ

ラリンピック、ロンドンパラリンピックでは標準記録を突破しながら出場枠の関係で出場できずつらい思いをされたということでした。しかし、どうしてもメダルが欲しいという強い気持ちを持ち続け、日々の練習をこつこつ積み上げていかれたそうです。子供たちに対しても日々のちよつとしためあてに向けた努力が結果的に夢の実現へと繋がっていくことをお話しくださいました。四年後の東京パラリンピックでは金メダルを目指していらつしやるのとことです。今後とも皆で応援してきたいと思ひます。

先日の全校朝会で「人間距離」という話をしました。毎朝電車に乗っているときや品川駅から学校に来るまでの間に、人と人との距離感について考えさせられることがあります。

満員電車の中、私の耳もとで仲間同士が大声で話していたり、座席に座っていると年配の男性がスマートフォンゲームに夢中になつて腕を平気でぶついたりすることがあります。また、港南口まで歩いているときにも前から歩いて来る人とぶつかりそうになつてしまうことも度々あります。

学校でも子供たちがすれ違ふときに肩と肩とがぶつかつてしまつたり、前の人のかかとを何度も踏んだり、人と人の距離が怪しくなつてきています。車間距離ならぬ人間距離(じんかんきょり)がうまくとれないようです。前から歩いて来る者は、当然自分を認めて避けるはずだと考えている場

面もあります。お互いがそう思つていたらどうなるのかを考えないのでしようか。また、相手の心に突き刺さる言葉を平気で発したり、相手が許容できない範囲に入り込んでしまつたりして衝突を起こすことがあります。

コミュニケーションをとる相手が自分に近づくことを許せる空間(パーソナルスペース)に相手が侵入してくると人間は不快感や嫌悪感をもつそうです。アメリカの文化人類学者エドワード・ホールによると人間がもつている他人との距離に関する意識は次の四つに分類されるそうです。

- 密接距離(十五cm〜四十五cm) ごく親しい人に許される距離
- 個体距離(四十五cm〜一・二m) 友人同士の個人的会話ができる距離
- 社会距離(一・二m〜三・五m) 身体が触れない距離。あらたまつた場などにとられる距離
- 公共距離(三・五m以上) 講演会や公式な場での距離

この距離感を家庭で学ぶことはなかなかできません。集団である学校では少なくともクラスに三十名以上の相手がいます。幸い、本校には千名以上の相手がいます。その中で、互いが心地よいコミュニケーションを築けるようにするには、相手の言動が予測でき、周囲との適切な人間距離のとれる子に育てることが大切です。数多くの人と接する中で、港南小学校の子供たちも「人間距離」について考えてほしいと思ひます。

人間距離(じんかんきょり)



港南小学校HP

東京都港区港南4-3-28
TEL 3474-1501・FAX3474-1500

3月の主な行事予定

- 2日 (木) 感謝の会 (6年) 14:00
【6年以外は13:15下校】
- 3日 (金) 保護者会 (3・4・5年)
1/2成人式 (4年)
- 6日 (月) セーフティタイム、委員会活動
- 7日 (火) 保護者会 (1・2年)
- 11日 (土) 土曜授業日、フレンドリータイム3校時
- 16日 (木) 三菱重工業理科授業 (3年)
- 17日 (金) 三菱重工業理科授業 (3年)
- 20日 (月) 春分の日
- 21日 (火) 卒業式予行 (5・6年)
【1～4年は13:15下校】
- 22日 (水) 給食終【下校時間変更】
- 23日 (木) 卒業式
- 24日 (金) 修了式、土曜時程、大掃除2校時
- 27日 (月) 春季休業日始

2月の行事予定

1日	水	
2日	木	音楽朝会 お茶会 (わかば)、保護者会 (わかば) 15:45
3日	金	ユニセフ週間終 教師道場公開授業 (5-5) 【5-5は5時間授業、他の学級は13:10下校】
4日	土	
5日	日	
6日	月	全校朝会、セーフティタイム クラブ活動、クラブ見学【3年下校時間変更】
7日	火	げんきアップタイム 校外学習 (わかば5・6年生)
8日	水	
9日	木	基礎なし下校時間変更【13:10下校】
10日	金	
11日	土	建国記念の日
12日	日	
13日	月	全校朝会、生命尊重週間始 地域ふれあい給食 (5年)
14日	火	げんきアップタイム
15日	水	学校保健委員会 (6年)【6年下校時間変更】
16日	木	社会科見学 (4年)、幼稚園交流給食 (1年)
17日	金	生命尊重週間終、薬物乱用防止教室 (6年)
18日	土	
19日	日	
20日	月	全校朝会 新一年生保護者会 (受付13:30、開始14:00) 【1年 12:50下校】
21日	火	6年生を送る会 (3校時)
22日	水	
23日	木	兄弟班お別れ給食、保護者会 (6年) 15:00
24日	金	社会科見学 (5年)
25日	土	土曜授業日 卒業・進級を祝う会 (わかば) 10:15
26日	日	
27日	月	全校朝会 クラブ活動、クラブ見学【3年下校時刻変更】
28日	火	

副校長より

皆様もご存じの通り、現在全国各地でインフルエンザが蔓延しております。本校でも一月中旬から現在まで、インフルエンザで学校を休む児童が増えてまいりました。皆様には、本校のインフルエンザの状況を知らせていただきたく、学校のホームページに日々のインフルエンザの数をアップしております。よろしければご覧ください。

本校では、これまでウィーンターフェスタでの児童鑑賞や音楽鑑賞教室等、多くの児童が一つの場所に集まる活動の際には保護者の皆様にお手紙を配布し、マスクを着

用させ、インフルエンザや感染症、胃腸炎等の予防に努めます。今後は、インフルエンザの予防に引き続き、インフルエンザの発生を防止するために、教室の消毒、換気、加湿器等を行います。また、児童の体調管理に努めます。インフルエンザの予防に努めます。今後は、インフルエンザの発生を防止するために、教室の消毒、換気、加湿器等を行います。また、児童の体調管理に努めます。

室内の温度を保つため、教室のエアコンの設定温度も変えていきます。今後、このように、少しくもインフルエンザの予防に努めます。皆様のご家庭でもお子様の健康管理には十分にご留意いただき、十分にご留意ください。お願い申し上げます。

(副校長 近藤 夏彦)
(副校長 齋藤 幸之介)

この他に、避難訓練 (予告なし) があります。

表彰

全国珠算連盟主催
暗算能力検定 2級合格

2年 藤盛 麗奈

今月のあいさつ当番

5年

今月の生活目標

安全に気を付けて生活しましょう。

	わかば	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
児童数 (人)	27	212	202	197	189	162	164	1153

実生活に繋がる学習 「生活単元学習」

わかば学級では、子供たちに基礎的・基本的な知識や技能だけでなく、将来社会に参画して豊かな生活を送るための力が身に付くように日々の指導を行っています。その中でも特徴的なものが生活単元学習です。

生活単元学習については、実際の生活から発展した内容を子供たちの興味関心に応じて取り上げることや、友達や教師と共同して取り組む学習であることなどが学習指導要領によって定められています。例えば、「調理」や「おひさま農場」「茶道」などがその例です。



「調理」では、必要な材料をスーパーに買いに行くことや買い物に必要な予算を計算することなどにも取り組んでいます。今年度は、一学期にカレー、二学期に合わせ調味料を用いたオリジナル麻婆をそれぞれ作りました。どちらも子供たちだけでなく、お母さんや、またアレンジやリメイクをしやすいので、子供たちも「今度お母さんに作ってあげよう」「次は豚肉じゃなくて、牛肉を入れて作ってみよう」など、生活に楽しんで取り入れようとする姿が見られました。

また、「調理」では、レシピを決めたり買い物したりする事前の準備から実際に調理を行うまで、異学年で構成されたグループで活動を行います。上級生は下級生の補助をしたり話し合い活動を進めたりします。下級生は、上級生を手本とし、「自分もいつかあんな風になりに上手に包丁を使えるようになりたい」と来年はリーダーとして活躍したい」と前向きに活動に取り組んでいます。こうした関わり合いにより、子供たちはより一層主体的に活動に取り組むことができています。

「おひさま農場」では、ヒヤシンスなどの植物を栽培して観察する他に、学級菜園や水田で野菜や米を育てる活動に取り組んでいます。学級菜園で育てた野菜は、自分たちの手で収穫し、家庭に持ち帰って調理をして食べます。保護者の皆様からは、「自分で大切に育てた野菜が食べられる喜びを子供自身が感じていた」「子供が自ら調理をして振舞ってくれた」などのお声を寄せていただきました。また、これまで苦手だった野菜が食べられるようになった子もいます。「おひさま農場」での学習を通して、子供たちの食への関心が高まったり、お世話になっている人になつていたり、に食事をふるまいたいと思える温かい気持ちをもったりできたことを



喜ばしく思います。

「茶道」では、正しく箸を持つなどの美しい所作を身に付けたり、懐紙や茶碗の扱いを通して手の器用さや丁寧な作業をする態度が身に付くように指導しています。また、季節の花や茶菓子の名前の由来などについて学ぶことを通して日本の文化に親しめるようにしています。そして、最終的には家族や友人などの日頃お世話になつている人に感謝の気持ちを表したり、自宅にお客様を招いた際にもって接したりできることを目指しています。



このように、生活単元学習を通して、わかば学級の子供たちは生活に役立つ様々な知識や技能、態度を身に付けることができます。日々学習に励んでいます。教職員一同、子供たちが将来自立した生活を営み、他者とよりよく関わり合っているようにという願いを込め、日々の教育活動により一層力を注いでいきたいと思

（わかば学級担任 早川 恵美）

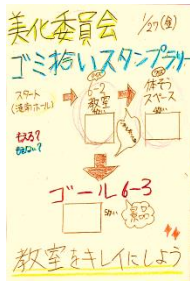
美化委員会

美化委員会では、曜日ごとに担当を決め、掃除の時間にごみの分別や古紙の回収を行うなど、学校の美化のために積極的に活動しています。自分の担当の日はもちろん、それ以外の日にも気を配って進んで手伝いをするメンバーもいて頼もしく思います。

一学期から継続して各学級を回って間違えやすい分別について呼びかけ、用務主事からも「美化委員の活動のおかげで全校の分別に対する意識が上がってきていますよ」と声もかけられました。

三学期には、より楽しく分別をしてほしいという願いを込め、ゴミを拾ったり分別に関するクイズを出したりするスタンプラリーも企画しています。今後もアイデアを出し合い、学校がよりきれいになるように提案していきます。

（美化委員担当 渡辺 希恵子）



運動委員会

運動委員会では、主に二つの活動を行っています。

一つ目は、体育用具の整理整頓です。授業等で用具が使いやすいうように、毎週担当を決めて取り組んでいます。チームを組み、声を掛け合う姿が多く見られます。

二つ目は、全校児童が体を動かして遊べるように体育集会での活動を考えることです。様々な学年の友達と一緒に遊ぶイベント「おみくじ鬼ごっこ」を実施します。遊びのルールや遊び方の工夫について話し合い、充実

した活動になるように取り組んでいます。（運動委員会担当 小清水 孝）



パソコンクラブ

パソコンクラブは、十三名の児童で活動しています。

パソコンの技能レベルは異なりますが、パソコンを扱い慣れている児童が他の児童に教えている姿がよく見られます。

今年度は、「ワード」を使って活動しています。まず、自分の名刺を作ることを通してワードの使い方を把握しました。そして、名前や趣味を飾り文字で入力したり、簡単なイラストを描いたりしました。現在は、この技能を応用させてカレンダーを作っています。写真や



(パソコンクラブ担当) 戸室 勇児

マジッククラブ

マジッククラブでは、児童がそれぞれ得意なマジックを紹介したり、本を見ながら練習したりしています。

本やインターネットで知ったマジックを練習するだけでなく、それを応用して自分のオリジナルのマジックを考え、発表する児童もいます。

マジックは一人でやるものではなく、相手がいって初めて成立するものです。自分では面白いと思っても、実際に友達に見せてみると、思ったような反応が得られない場合

イラストを挿入し、文字などを組み合わせる季節を感じられる作品を作っています。

三学期はクラブ発表に向け、子供たちの素晴らしい発想が生かされるように活動を工夫していきます。

もあります。

マジックは、タネの面白さと、それを不思議に見せる技術、話術を上手く組み合わせることで、魔法のような現象を相手に伝えたいという思いがあります。それは難しいことではありますが、児童たちは相手が驚き、楽しんでくれるようなマジックができるよう頑張っています。



(マジッククラブ担当)

青木 良太

ベースボールクラブ

ベースボールクラブは二十七名の部員で活動しています。ベースボール型のゲームである、ハンドベース、キックベース、ティボール、トスベースをローテーションさせながら行っています。六年生が中心となり、四つのチームで対戦しています。

ベースボールクラブでは、ゲームに勝つことよりもゲームを楽しむことを重点に置いています。野球を経験したことがある児童もそうでない児童も思い切り体を動かし、ベースボール型のゲーム



(ベースボールクラブ担当) 高嶋 佑樹

を楽しみながら行うことができている。これから寒い時期になりますが、寒さに負けずに元気に活動をしていきます。

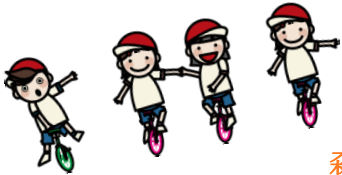
一輪車クラブ

一輪車クラブは、十七名の児童で活動しています。一輪車が得意な子だけでなく、初めて一輪車に乗る子も楽しく活動できるように内容を工夫しています。四月当初から一人一人のレベルに合わせて一人乗りやアイドリ

ング、メリーゴーランドなどの様々な技に挑戦してきました。四年生から六年生までが学年の壁を越えてみんなが一輪車に乗って「おにごっこ」や「だるまさんが転んだ」をしています。三学期のクラブ発表会

で様々な技が披露できるように、空中乗りを練習したり知っている技を教え合ったりして、みんなが協力して楽しく活動していきます。

(一輪車クラブ担当) 森下 瑠美



研究部 特別支援教育部会より

わかば学級では、身近な生活の中から題材を取り上げて体験的活動を行って、知識や技能を習得し、生活に生かせるようにしていく生活単元学習を設定しています。今年度は「身近な課題の解決に近んで取り組み、達成できた喜びを味わったり互いに認め合ったりできる児童の育成」を目指して研究に取り組みしました。

一月十八日(水)には「空気のふしぎ」の研究授業をしました。身近だが見ることのできない空気を、風船を膨らませた

り、ビニール袋に空気を詰め込んで作ったクッションに寝たり、水中に空気を逃がして気泡を見たりすることなどを通して、空気の存在や特性に気付いてほしいと考えました。

この学習を始めてから、「お風呂で空気の泡を見つけた」「スポンジから泡が出る」と家庭でも空気に意識を向ける様子が報告され、子供たちの意欲的な学びにつながりました。

(特別支援教育部会) 藤井 由起子

研究部 図工科部会より

図画工作科では、「自分の思いを表現することを楽しむ、お互いのよさを感じる」ことのできる児童の育成を目指して研究を進めています。

一月十八日(水)に四年五組で波段ボール工作の研究授業を行いました。題材である「十才おめでどうケーキ」は、十

いて試行錯誤しながら自分の夢を象徴する形を作りました。子供たちは、作りながら友達の作品の工夫やよさを見つけ合っていました。今後の授業では工作や色付けによって波ダンボールを豪華でおいしそうなケーキに変身させていきます。

自己を見つめ、自分の夢やその作品を友達と互いに認めることを通して、自己肯定感を高め合えるようにしていきます。

(図工科部会) 鬼塚 美海